

音楽文化から見る「アメリカ村」

～戦後大阪のポピュラー音楽史再考～



日時: **2019年11月23日 (土)**
10時～11時30分

場所: **大阪市立大学**
学術情報総合センター
1F ツクルマ

報告者: **加藤賢 (UCRC研究員)**
柴台弘毅 (UCRC研究員)

ゲスト: **回陽豊一 (「MUSIC STORE KING KONG」代表)**

本発表は、UCRC若手プロジェクト「戦後日本における都市音楽文化の形成と変容：心齋橋アメリカ村を事例に」の趣旨に基づき、戦後大阪のポピュラー音楽史における心齋橋アメリカ村の歴史的役割を再検討するものである。1970年代半ばに形成された当該商業地区は音楽メディアならびに実演空間の集積地帯として、現在まで先駆的な音楽実践の土壌であり続けてきた。今回は西日本最古（1979年創業）の中古レコード店「キングコング」の創業者である回陽豊一氏をゲストに交えつつ、1970-2010年代まで約40年間の大阪ポピュラー音楽史の問い直しを行う。



アクセス: JR阪和線「杉本町駅」より徒歩5分
大阪メトロ「あびこ駅」より徒歩20分

https://libweb.media.osaka-cu.ac.jp/?page_id=112 (一部改変)

※ 当日は正面入り口が閉鎖されていますので、**西側の入口**よりお入りください。